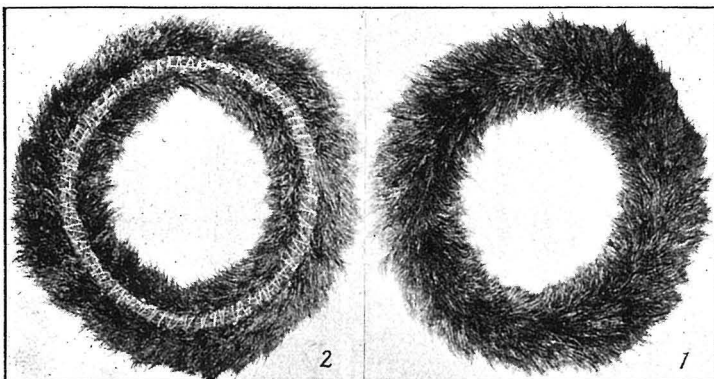
テナイ藤ノ花穗ハ必ズ去年ノ枝ヨリ出ネバナラヌ若シ老枝ノ途中ヨリ出タ樣ナモノガアッタトスレバ其處ニハ必ズ去年出タ短キ目立タヌ枝ガ見出サルヽデアラウ又畫ノ中央ニアッテ這ヒ付イテ居ル植物ハ葉ノ形狀カラ見テ多分地錦(つた)デアラウト思フガ若シつたナレバ此畫ノ樣ニ決シテ其葉ハ去年ノ枝上ニ直接ニ出ヅルモノデハナイ(若シ此畫ガ常春藤(きづた)トスレバ此植物ハ常綠品故其ンナコトノアルハ常デアル)莖ニ氣根ノ付イテ居ル所ヲ見ルト先ヅきづたトモ言ヘルガ(尤モつたモ舊莖ニハ少々根ガ出ル)葉狀デハ地錦(つた)ト言ヒタイ然シ地錦(つた)ナレバ別ニ短キ卷鬚ガナケレバナラヌ地錦ノ卷鬚ニハ枝端ニ圓形ノ吸盤ガアッテ其デ他物ヘクッツイテ居ル

●群芳競研(平田松堂) 右ヨリ第二ノ畫面ノ右側ニ描ケルすゞらん一名きみかげさうハ花穗長キニ失シ又花ノ數ガ多過ギ又花蓋ガ開キ過ギテ居ル第四ノ畫面ノ右側ノ葡萄(ぶだう)ノ果穗ガ葉腋ヨリ出デ居ルハ誤リデコレハ是非トモ葉ニ對シテ出ネバナラヌ即チ葉ト反對ノ側ヘ出レバ宜シイ又葉ガ對生シタ處ガアルガコレモ惡イ又地錦(つた)ノ果實ハ此樣ニ今年ノ長枝上ニ出ルモノデハナイアノつたハ今年生長シタ蔓デアルソレハ其上ニ葉ガ互生シテ居ルカラ分ルつたノ葉ハ必ズ其年ニ生長シタ枝ノ上デナケレバ出ヌモノデアル若シ老枝ノ末ヨリ出タモノガアレバ此枝ハ植物學上デ言フ短枝ナノデ其葉ノ生ジ居ル點ハ矢張今年生長(非常ニ短縮シテ居レドモ)シタモノデアル又此つたノ果穗ノ柄ガ長過ギルノミナラズ其果實ノ色ガアノ樣ニ藍ガヽラズニモット黑クナッテ居ラネバナラヌ又あさがほノ花モアノ樣ニ蔓上ニ連續シテ一度ニ數花ガ咲クモノデハナイ一體此四幅ノ畫ハ美術眼カラ觀レバヨイカハ知ラヌガ私ノ眼カラハ其植物ヲ描ク頗ル拙劣ヲ極メテ見エル濃厚ナル彩色畫故絢爛目ヲ奪フノ觀ハアルガ一向ニヨイト感ジナイ私ハ之レガ特選ニ入ッテ居ルノヲ不思議ニ思フノデアル (未完)

○かうやのまんねんぐさ及ビ其近似種

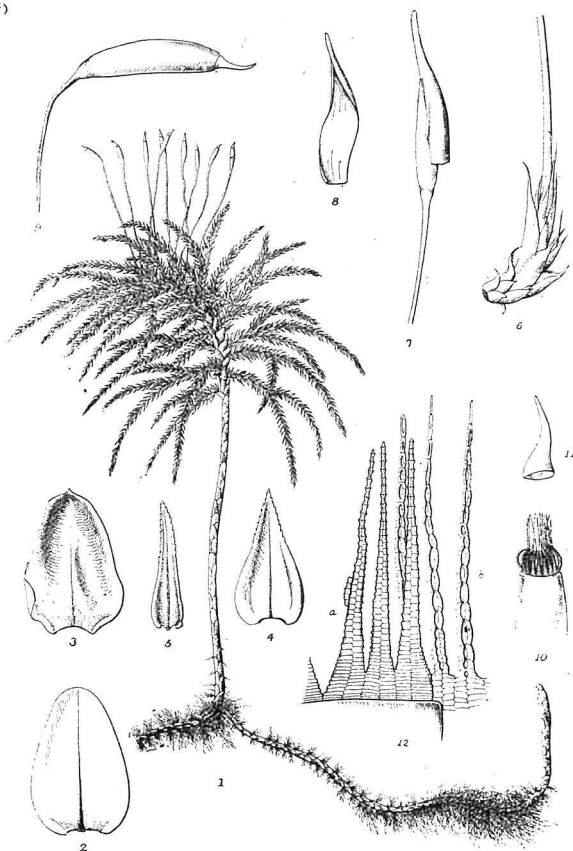
理學博士 岡村周(シウ)諦(タイ)

蘚苔植物中デ古來最モ人ニ知ラレテ居ルモノハみづごけトかうやのまんねんぐさデアル弘法大師入寂ノ地、眞言宗ノ本山トシテ誰知ラヌコトノナイ紀州ノ高野山ニ參詣シタ人ハ此かうやのまんねんぐさガ數本ヅヽ一束トシテ販賣シテヰルノヲ見タデアラウト思ハレル參詣ノ善男善女ハ之ヲ買ッテ土産トシ貰ヒ受ケタ人ハ之ヲ珍重シテ保存シオク若シ誰カ他出シテ歸ラズ生死ノ程モ分ラナイデ人々ガ心配シテ居ルト云フヤウナ時ニハ之ヲ取リ出シテ水ニ浸ス此ノ時今マデ乾キ切ッテ絲ノヤウニナッテアッタ枝カラ葉ガ生時ノヤウニ伸ビ擴ガッテ生々トスルヤウニナレバ其人ハ死ンデハナク歸ル見込ミガアルガ之ニ反シテ葉ガ伸ビ擴ガラナケレバ死ンダモノト諦メルト云フヤウナ生死判斷ノ用ニ供スルサウデアル是レハ誠ニ迷信採ルニ足ラザルコトデアル蘚類ハ乾燥スルト其葉ハ莖ニ接近スルガ水ニ浸スト展開スルコトハ一般ノ事デアッテ採集後一年位、中ニハ二三年經タモノデモ葉緑體ガ分解セズニ其儘生キテ居テ水ニ浸スヤ否ヤ青々トシテ舊時ノ狀態ニナルモノデアル夫レ故此ノヤウナ淺墓ナ迷信デ判斷スルト死ンダモノモ生キテ居ルト空喜ビヲシテ馬鹿ヲ見ルコトニナル此種ハ高野山ノ奥ノ院ノ向ッテ右側ノ溪流附近ニハ澤山生エテアル其名モ斯ク高野山ニ產シ斯ク水ニ浸スト生時ノ狀態ニナルト云フ所カラ名ケタモノデアルガ本邦諸州ノ山地ニモ多ク產スル之ヲ採集シテ青ク染メ小サキ植木鉢ニ栽ヱテ緣日ノ店頭ニ賣ッテヰルコトガ屢々見受ケラレル又前年此鉢栽ヲ日本國中遍ク賣リ廻ッテ金儲ケヲシタ者ガアル又近來ハ之デ花環ヲ造ッテ外國ヘ輸出モスル(圖ヲ見ヨ)蘚類中デハ有用ナル植物デアル

本種ヲ初メテ學界ニ紹介シタノハリンドベルグ氏デ、今カラ四十五年前ノコトデアル學名ハ Climacium japonicum LINDB. トイッテヰル此ノクリマーシウム屬ニハ四種アッテ其三種ハ日本ニ產スル、アトノ一種ハニュージーランドニ產スル日本產ノ三種ハ外觀デハ到底區別ガ出來ナイガ枝ノ葉ヲトッテ低度ノ顯微鏡(ライツ接眼鏡3ト接物鏡3位)デ見ルト能ク區別ガ出來ル然シ慣レナイト一寸六ケ敷カモ知レヌガ、終リニ圖ト檢索表トヲ示シテオクカラ之レデ識別スル便リトセラレタイ

からやのまんねんぐさニテ造リタル花環(1)ハ表面(2)ハ裏面（縮圖）

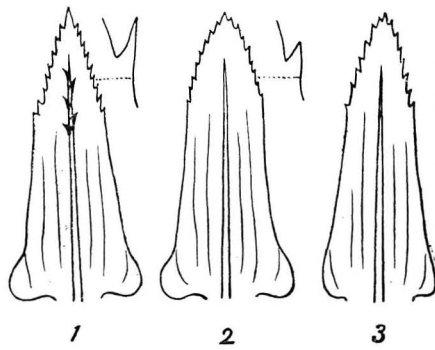
（清水藤太郎氏撮影）

からやのまんねんぐさ（新撰日本植物圖説下等隱花類部第一巻第一集松村博士ニ據ル）

(1)ハ全形（縮圖）(2)ハ無枝ノ莖ニ生ズル葉(3)ハ有枝ノ莖ニ生ズル葉(4)ハ枝ノ下部ニ生ズル葉(5)ハ枝ノ上部ニ生ズル葉(6)ハ子嚢柄下ノ總苞(7)ハ蘚帽ヲ被レル子嚢(8)ハ蘚帽(9)ハ子嚢(10)ハ子嚢ノ縁齒(11)ハ子嚢ノ蓋(12)ハ縁齒ノ一部(2)以下共ニ（廓大）

Climacium japonicum Lindb.

（牧野富太郎氏寫生）

日本産三種ノ葉（廓大圖）（原圖）

1　2　3

○日本産かうやのまんねんぐさ屬ノ檢索表

1 枝葉ニ淺イ縱襞ヲ有シ、基脚ハ僅ニ耳狀ヲナシテヰル、先端ハ短キ銳頭。中肋ノ裏面ノ先端近クニハ齒ガナイ。子嚢ハ卵狀長橢圓形デ直徑ト長サノ比ハ約 1 : 2.5–3.0 …………きだちまんねんごけ C. dendroides (DILL.) WEB. ET MOHR.（圖ノ3）

枝葉ニ深キ縱襞アリ、基脚ハ大ナル耳狀ヲナシテヰル。子嚢ハ略圓筒形デ直徑ト長サノ比ハ約 1 : 5–6 …………2

2 枝葉ハ銳頭、緣邊ノ鋸齒ハ銳イ。中肋ノ裏面先端ニハ二個乃至六個位ノ齒ガアル。…………かうやのまんねんぐさ C. japonicum LINDB.（圖ノ1）

枝葉ハ短キ銳頭狀ノ銳頭。中肋ノ裏面先端ニハ齒ヲ有セヌ。…………あめりかまんねんごけ C. americanum BRID.（圖ノ2）

本邦ニハかうやのまんねんぐさ(Climacium japonicum LINDB.)トあめりかまんねんごけ(C. americanum BRID.)トハ多ク産スルガきだちまんねんごけ(C. dendroides WEB. ET MOHR.)ハ少ナイヤウデアル而シテあめりかまんねんごけハ北方ニ多クかやうのまんねんぐさハ南方ニ多イ

Climacium（クリマーシウム） ト云フ屬名ハ希臘語ノ κλιμαξ = klimax 即チ階段ト云フ字ヲ採ッテツケタモノデ其ワケハ此屬植物ノ内緣齒ニハ多クノ孔ガ一列ニアイテアッテ恰モ梯子段ノヤウニ見エルカラデアル

此屬ニ近イモノデほうらいごけ即チ Pleuroziopsis ruthenicum (WEINM.) KINDB.ト云フモノガアル、之モ目出度名ノツイタ實際奇麗ナ蘚類ノ一ツデアル之ニ就テハ近ク又御話致シマセウ